

Sは美大生なりに考えて、 東北の温泉旅館で 自由研究をすることにした。

岩手県には、秋田県との県境に西和賀町という町がある。

この町には、山峡の町にもれず温泉旅館がある。

西和賀町の存在を知った美大生Sは、この町に全国の美大生を集めて何かやりたいと思った。

そこで大学の先輩であるMに相談し、「風呂美術大学」というふざけた名前の何かをやった。

「風呂美術大学」はそれなりにウケた。

ただし、訪れなかった人びとからのほうが反応がよかった。

もっと直截に言えば、訪れた人びとからの反応はあまりよくなかった。

美化の成果が人びとの想像に及ばなかったのだった。

Sは美大生なりに考えたが、どうしていいか分からなかった。

Mが相変わらずめんどくさそうに言った。

「テーマでもコンセプトでも、何かそういうもので全体の方向性を決めたらいい」

Sは美大生なりに(コンペティションじゃあるまいし、どうしてそんなものを)と思った。

Mはあこの髭を抜きながら続けた。

「次は夏の開催だから(自由研究)をテーマにしたらいい」

いわれてSは思い出した。

美大生になるずっと前、自分は自由研究に全力を傾けるタイプの子どもであった。

(きつと自由研究こそが自分の学びの原点だったのだ)とさえ、Sは思った。

しばらくのち、Mはふと気づいた。

テーマにした(自由研究)とは、そもそもテーマのない課題のことであった。

ちなみに、MはまだSにこの話をしていない。

*風呂美術大学とは、温泉旅館の浴室を(美化)し(美術作品化する)プロジェクトである。

温泉旅館に泊まり、風呂掃除を行ない、浴室あるいは旅館全体をインスタレーション作品化するにより、温泉と美術を同時に楽しんでもらおうという素敵な企てである。

※Sは共同研究者を募集している。

自由研究の奥の深さをかんがみるに、共同研究者は何人いても足りない。
そのためSは、より早い段階から研究チームを組織しようと思に至った。
Sの研究活動に興味や関心をもった美大生、美大出身者、その他の若者たちは、ぜひ下記のアドレスか番号に連絡し、Sと話してもらいたい。

「湯田温泉峡風呂美術大学2013(夏)」

滞在期間：8月5日(月)～11日(日)

参加費：24,000円＋交通費(一泊三食付4,000円×6泊)

問合せ：nishiwaga.SDF@gmail.com 080-5564-5798

C L E A N I N G



C R E A T I O N

温泉旅館に来るときも美術作品を見るときも、ひとはどこかを旅してる。

湯田温泉峡風呂美術大学2013夏 2013.8.05(月)

<https://www.facebook.com/events/501589193223068/>

- 8.11(日)

主催：銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会 協力：西和賀町・西和賀町文化創造館・湯田温泉峡旅館組合・劇団ぶどう座・西和賀町観光協会・西和賀商工会



GINGAKU